

調査書作成上の留意事項

I 記入上の全般的注意

- 1 記入に当たっては、黒のペンを用いる。ただし、鉛筆書きした原本を複写してもよい。また、ワープロ等の使用も可とする。
- 2 調査書には、令和2年11月末日までの事項を記入する。(過卒の場合は、中学3年次の状況を記入)
- 3 数字はすべて算用数字を用いる。
- 4 誤記を訂正する場合は、消しゴム、ナイフ、修正液等を用いず、記載責任者が訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押して訂正する。
- 5 ※No. の欄は記入しない。
- 6 氏名欄は、ゴム印を用いず楷書で記入する。
- 7 性別については、「男・女」のどちらかを○で囲む。
- 8 卒業等については、「令和・平成」および「卒業見込・卒業」のどちらかを○で囲み、年月を記入する。
- 9 学級種別については、「通常」「特別支援」のどちらかを○で囲む。特別支援学級に在籍している場合は、「知的」「肢体」「病弱」「弱視」「難聴」「自閉・情緒」「言語」のいずれかを○で囲み、中学校3年間における特別支援学級の入級年月日を記入する。
- 10 調査書等作成委員会の欄には、記載責任者の認印を押す。

II 各欄記入上の注意

1 「障害の状況」の欄について

- (1) 障害名は、下記の5つの障害のうち、該当するものを記入する。(情緒障害は該当しない)

・知的障害	・病弱	・肢体不自由	・視覚障害	・聴覚障害
-------	-----	--------	-------	-------

※ 知的障害が該当しない場合は、出願資格がないことになります。

- (2) 医療機関における診断名（自閉症、ADHD等）がある場合は記入する。

- (3) 療育手帳については、「有・無」のどちらかを○で囲む。療育手帳を持っている場合は、次の判定年月を記入する。

2 「身体状況」の欄について

- (1) 健康上の留意点については、学校生活および寄宿舎生活を送る上で、健康上配慮が必要な事項を記入する。特に留意点がない場合は、斜線を引く。
- (2) てんかん発作については、「有・無」のどちらかを○で囲む。発作がある場合は、服薬の有無や発作の状況（頻度やそのときの状態など）について詳しく記入する。服薬がある場合は、具体的な服薬名を記入する。
- (3) 服薬については、てんかん以外で服薬しているものについて「有・無」のどちらかを○で囲む。服薬がある場合は、具体的な服薬名を記入する。

3 「欠席状況」の欄について

- (1) 欠席日数は、各学年の欠席日数を記入する。欠席がない場合は0と記入する。
- (2) 遅刻、早退については、回数を記入する。遅刻、早退がない場合は0と記入する。
(途中で転入してきた場合についても、転出した学校と連絡を取り合い、遅刻、早退の回数を確認して記入する。)
- (3) 事由の欄には、各学年において欠席日数が7日以上の場合に主な理由と日数を記入する。
- (4) 欠席日数が7日未満の場合は、事由の欄に斜線を引く。

4 「学習および性格・行動等の記録」の欄について

- (1) 学習については、学習の状況や取組の変容を具体的に記入する。
- (2) 性格・行動については、特に集団生活における生徒の良い点と課題となる点を記入する。
- (3) 社会性については、特に集団生活における生徒の良い点と課題となる点を記入する。
- (4) その他については、下記の項目を記入する。

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">・スポーツ活動や文化活動、ボランティア活動に関すること・学校生活を送る上で、配慮が必要なこと（健康上以外のこと）・就学中の転・編入学に関すること |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- (5) それぞれの欄で記入しきれない場合は、副申書で補足してもよい。